



# 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成27年1月30日

上場取引所 東名

上場会社名 オークマ株式会社  
 コード番号 6103 URL <http://www.okuma.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 花木 義麿  
 (氏名) 堀江 親

TEL 0587-95-7822

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	118,322	30.8	9,260	100.3	9,158	86.4	7,288	97.1
26年3月期第3四半期	90,492	△4.9	4,623	△32.6	4,913	△23.9	3,698	△16.6

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 13,084百万円 (24.6%) 26年3月期第3四半期 10,501百万円 (85.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	44.64	—
26年3月期第3四半期	22.59	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	194,211	123,339	60.9
26年3月期	182,319	115,200	60.7

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 118,268百万円 26年3月期 110,633百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
27年3月期	—	6.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	7.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	160,000	19.1	14,500	55.2	13,800	45.0	10,300	29.6	63.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	168,775,770 株	26年3月期	168,775,770 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

27年3月期3Q	7,340,798 株	26年3月期	5,286,801 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	163,269,260 株	26年3月期3Q	163,708,580 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	11
(1) 受注及び販売の状況	11
(2) 海外売上高	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間に於ける世界経済は、総じて緩やかな回復基調で推移いたしました。米国経済は堅調に推移した一方、欧州経済及び中国経済は、緩やかな回復が続きながらも、次第に減速感が強まりました。

わが国の経済は、消費税率引き上げ後の落ち込みから持ち直しつつあるものの、弱めの動きが続きました。

工作機械の需要動向につきましては、北米市場は堅調に推移し、幅広い分野で旺盛な需要が見られました。欧州市場は回復基調で進みましたが、設備投資に対して慎重な動きが続きました。中国市場では、高水準で推移していた電気・精密分野からの需要に服感が見られた一方、自動車関連や一般機械に於ける需要は緩やかな回復が続きました。国内市場は、円高の修正により設備更新のマインドが高まる中、政府の投資促進策の後押し等もあり、工作機械市場は好調に推移いたしました。

このような状況の下、当企業グループは引き続き「グローバル70」の指針を掲げ、グローバル販売戦略、プレミアム・プロダクト戦略、グローバル・コスト戦略を推進し、受注・売上、収益の拡大を図ってまいりました。

グローバル販売戦略に於きましては、「第12回中国国際工作機械・工具展 (CIMES 2014)」、「第16回ソウル国際工作機械展覧会 (SIMITOS 2014)」に出展するなど、新興国に於けるオークマブランドの浸透を図りました。また米国で開催された国際見本市「IMTS2014」、東京で開催された「第27回日本国際工作機械見本市 (JIMTOF2014)」などに於いて、強みとする高付加価値マシン、独自の知能化技術を強力にアピールしてまいりました。

プレミアム・プロダクト戦略に於きましては、生産プロセスを効率化する豊富なアプリケーションを備え、また操作性も一段と高めた新型CNC装置「OSP suite」や、大型部品の高効率な加工性能と省スペースを両立した5軸制御マシンニングセンタMU-8000Vなどを開発し、JIMTOF2014に出品いたしました。これまでの新商品、新技術の開発により、門形マシンニングセンタMCR-Cが「第44回機械工業デザイン賞」(日刊工業新聞社主催)を受賞し、5軸制御マシンニングセンタMU-6300Vがドイツに於いて「MM Award」(Maschinen Markt社)を受賞いたしました。また、加工効率と精度の向上をもたらす知能化技術の開発に対し、「平成26年度科学技術分野の文部科学大臣表彰(科学技術賞開発部門)」を受賞いたしました。

グローバル・コスト戦略に於きましては、本社新工場(ドリームサイト1)に於ける、多品種少量での高効率生産とリードタイム短縮の取り組みを一段と強化して継続してまいりました。台湾の生産拠点(大同大隈股份有限公司)では、自動化対応工作機械の技術・生産の強化、生産機種の新規開発を図ってまいりました。

このように「グローバル70」の戦略を確実に実行してまいりました結果、当第3四半期連結累計期間における連結受注高は1,288億47百万円(前年同四半期比18.0%増)、連結売上高は1,183億22百万円(前年同四半期比30.8%増)、営業利益は92億60百万円(前年同四半期比100.3%増)、経常利益は91億58百万円(前年同四半期比86.4%増)、四半期純利益は72億88百万円(前年同四半期比97.1%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間における総資産は、前連結会計年度末と比較して118億91百万円増加し、1,942億11百万円となりました。主な要因は、「現金及び預金」の増加62億7百万円、「投資有価証券」の増加27億41百万円、「たな卸資産」の増加17億63百万円、及び「受取手形及び売掛金」の増加11億21百万円などによるものです。また、負債は前連結会計年度末と比較して、37億53百万円増加いたしました。主な要因は、「電子記録債務」の増加19億63百万円、及び「支払手形及び買掛金」の増加16億64百万円などによるものです。純資産は、「利益剰余金」の増加42億81百万円、「為替換算調整勘定」の増加31億51百万円及び「少数株主持分」の増加5億3百万円などにより、81億38百万円の増加となりました。この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は60.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の世界経済の見通しにつきましては、緩やかな回復基調で推移すると見込まれます。米国経済は堅調さを維持し、欧州経済は、デフレ懸念、地政学的リスク等が残る中、緩やかな回復が進むものと見込まれます。中国経済は安定した成長を維持し、その他のアジアの新興国に於いては、国ごとに強弱はあるものの、アジア全体では経済は持ち直しに向かうものと期待されます。

わが国経済の見通しにつきましては、金融緩和や経済政策の効果により、景気は緩やかに回復していくものと見込まれます。

このような経済の下、工作機械の市況は、海外の需要は米国を中心として底堅く推移し、国内では為替の安定による企業収益の改善や、投資減税等による老朽化設備の更新需要が期待され、堅調な設備投資が続くものと予想されます。

このような状況の下、当企業グループは「グローバル70」の戦略を着実に実行し、業績向上に努めてまいります。

販売戦略に於きましては、オンリーワン技術である知能化技術を備えた高品質、高性能なオークママシンの高い付加価値を強力にアピールし、国内、海外で高まる需要を獲得してまいります。航空機や自動車などの好調産業やアジアの有望市場に対し、積極的なソリューション提案を行い、受注拡大を図り、また新興国市場に於いては、企業情報、製品・技術情報の発信強化や積極的な展示会への出展などによりオークマブランドを広め、浸透を図り、顧客基盤の拡大に努めてまいります。

技術戦略に於きましては、強みとする5軸制御マシニングセンタ、複合加工機などハイテク機の充実したラインナップと高度なエンジニアリングにより、航空機など成長産業、好調業種のニーズに対し、最適な製品、加工技術を提供してまいります。また、当社独自の知能化技術を更に高度化し、高効率加工、環境対応などの新機能をグローバル市場に展開してまいります。

コスト戦略に於きましては、生産システムの更なる高度化により、本社新工場（ドリームサイト1）を核にして、更なる生産効率の向上、リードタイムの短縮を図ってまいります。

台湾の生産拠点（大同大隈股份有限公司）に於いては、拡充した製品ラインナップにより、グローバル市場からのニーズに対応してまいります。

このように、「グローバル70」の戦略を強力に推し進め、受注・売上、収益の拡大を図り、成長戦略を進めてまいります。

以上を踏まえ、平成26年4月25日に公表いたしました平成27年3月期の連結業績予想を修正いたしました。

通期の連結業績予想の修正数値につきましては、下表のとおりであります。

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
平成27年3月期（修正後の予想）	160,000	14,500	13,800	10,300	63.35
平成26年3月期（実績）	134,351	9,342	9,514	7,948	48.57
増減率	19.1%	55.2%	45.0%	29.6%	30.4%

なお、具体的内容につきましては、本日（平成27年1月30日）公表しております、「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

#### (退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更し、割引率の決定方法を残存勤務期間に基づく割引率から単一の加重平均割引率へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が1,223百万円増加し、利益剰余金が1,206百万円減少し、投資有価証券が16百万円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益は6百万円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ5百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	27,696	33,903
受取手形及び売掛金	35,402	36,636
たな卸資産	49,558	51,321
その他	8,636	9,835
貸倒引当金	△211	△237
流動資産合計	121,081	131,459
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,868	16,676
リース資産(純額)	3,474	3,177
その他(純額)	14,723	14,005
有形固定資産合計	35,066	33,859
無形固定資産	2,991	2,622
投資その他の資産		
投資有価証券	19,837	22,578
その他	3,353	3,700
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	23,180	26,270
固定資産合計	61,237	62,752
資産合計	182,319	194,211

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,948	14,613
電子記録債務	13,898	15,861
短期借入金	1,590	177
1年内償還予定の社債	5,000	-
1年内返済予定の長期借入金	2,102	4,460
リース債務	548	579
未払法人税等	845	924
賞与引当金	2,104	1,224
役員賞与引当金	92	85
製品保証引当金	253	305
その他	7,902	10,387
流動負債合計	47,286	48,619
固定負債		
社債	5,000	10,000
長期借入金	4,080	-
リース債務	3,017	2,707
役員退職慰労引当金	108	113
退職給付に係る負債	4,092	4,929
その他	3,533	4,502
固定負債合計	19,831	22,252
負債合計	67,118	70,872
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,000	18,000
資本剰余金	41,672	41,673
利益剰余金	55,260	59,542
自己株式	△3,820	△5,759
株主資本合計	111,113	113,456
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,197	6,175
為替換算調整勘定	△1,066	2,085
退職給付に係る調整累計額	△3,610	△3,449
その他の包括利益累計額合計	△479	4,811
少数株主持分	4,567	5,071
純資産合計	115,200	123,339
負債純資産合計	182,319	194,211



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	90,492	118,322
売上原価	66,311	85,502
売上総利益	24,180	32,820
販売費及び一般管理費	19,557	23,560
営業利益	4,623	9,260
営業外収益		
受取利息	63	59
受取配当金	283	329
持分法による投資利益	35	72
為替差益	301	-
その他	457	292
営業外収益合計	1,141	754
営業外費用		
支払利息	232	218
為替差損	-	162
借入手数料	223	218
その他	395	257
営業外費用合計	851	856
経常利益	4,913	9,158
特別利益		
投資有価証券売却益	211	-
補助金収入	400	-
特別利益合計	611	-
特別損失		
固定資産圧縮損	400	-
特別損失合計	400	-
税金等調整前四半期純利益	5,124	9,158
法人税等	1,014	1,483
少数株主損益調整前四半期純利益	4,110	7,675
少数株主利益	411	387
四半期純利益	3,698	7,288

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,110	7,675
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,527	1,905
為替換算調整勘定	3,817	3,260
退職給付に係る調整額	-	152
持分法適用会社に対する持分相当額	45	91
その他の包括利益合計	6,390	5,409
四半期包括利益	10,501	13,084
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,724	12,580
少数株主に係る四半期包括利益	776	504

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	欧州	アジア・パ シフィック	計		
売上高							
外部顧客への売上高	41,895	27,633	13,687	7,275	90,492	—	90,492
セグメント間の内部売上高 又は振替高	33,202	91	74	6,702	40,070	△40,070	—
計	75,097	27,724	13,761	13,978	130,562	△40,070	90,492
セグメント損益	2,573	1,030	△119	1,334	4,819	△196	4,623

(注) 1. セグメント損益の調整額△196百万円は、未実現利益の消去他であります。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	欧州	アジア・パ シフィック	計		
売上高							
外部顧客への売上高	56,865	34,900	18,984	7,572	118,322	—	118,322
セグメント間の内部売上高 又は振替高	38,270	175	62	6,792	45,300	△45,300	—
計	95,135	35,075	19,047	14,365	163,623	△45,300	118,322
セグメント利益	5,685	1,099	916	1,115	8,816	444	9,260

(注) 1. セグメント利益の調整額444百万円は、未実現利益の消去他であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

(1) 受注及び販売の状況

①受注状況

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高
NC旋盤	28,600	13,360	27,733	13,050
マシニングセンタ	52,793	26,451	62,592	30,946
複合加工機	23,254	7,360	33,240	9,599
NC研削盤	2,206	1,321	2,652	1,395
その他	2,354	790	2,627	808
合計	109,208	49,284	128,847	55,800

(注) 受注高、受注残高には消費税等は含まれておりません。

②販売実績

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	
	売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)
NC旋盤	24,331	26.9	28,788	24.3
マシニングセンタ	41,859	46.3	55,526	46.9
複合加工機	20,569	22.7	28,922	24.5
NC研削盤	1,690	1.9	2,613	2.2
その他	2,041	2.2	2,472	2.1
合計	90,492	100.0	118,322	100.0

(注) 売上高には消費税等は含まれておりません。

(2) 海外売上高

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

	米州	欧州	アジア・ パシフィック	計
I 海外売上高(百万円)	28,282	13,828	17,969	60,080
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	90,492
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	31.2	15.3	19.9	66.4

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

	米州	欧州	アジア・ パシフィック	計
I 海外売上高(百万円)	35,014	19,406	23,081	77,503
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	118,322
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	29.6	16.4	19.5	65.5